

路地百選推薦書【No.276】

推薦者氏名： 今井 晴彦

推薦する路地（のまち）の名称	下諏訪の路地
所在地	長野県下諏訪町立町

【推薦する理由（路地のよいところ）】

長野県下諏訪町は、歴史的風致維持向上計画に基づき、歴史文化的な景観づくりを主にまちづくりを御柱の令和4年を目標に平成21年より進めてきた。かつては中山道と甲州道中が合流する宿場町であり、街道有数の温泉街として大変賑わってきた町であるが、その遺風が残っていて、ということは同時に路地がいたるところにある町でもあり、このような特色を生かした道の整備をその中で進めて来た。

歴史的風致維持向上計画の第4章でもそのような道づくりに関して次のように記述されている。

—歴史的風致維持向上計画 第4章の一部—

国道142号の一部、町道宮街道線は江戸五街道の中山道と重複しており、かつては旅人の往来があった路線であり、現在も街道巡りの来訪者が多い路線である。また、下諏訪町の歴史文化を色濃く残す路地の散策を楽しむ人々も多く見られ、町道横内道銀、町道立町1号線などの事柄の通行のない道路については石畳の舗装によりうるおいのある道路空間の整備を進めてきたところであるが、引き続いて中山道下諏訪宿の歴史的な経過を持つ路線について、歩行者空間の確保に考慮した舗装のグレードアップにより、多くの人が歩いて下諏訪宿の歴史的な趣を楽しめるよう道路の美装化を進め文化財等を巡って歩きやすい環境と、人々が心地よく活動できる街なみが整備され、国指定重要文化財諏訪大社秋宮、県指定史跡青塚古墳、下諏訪町立歴史民族資料館等の歴史的建造物の活用が促進され、歴史的風致の経持向上に寄与する。

昔の面影を残す町並みと路地とが溶け合って、またあちこちに整備されたお休み所や温泉つくばいなどもあって、一度はあるいてみたらと思う路地のまちになっている。



※路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。



古民家を改造した飲食店「飛びやじ」
の入り口、路地の奥に店がある



中心に路地裏散策ゾーンがある